

1. 現状

- 宮下病院、南会津病院の半径15km圏内に病院はなく、両病院においては急性期を中心に亜急性期から終末期までを担っている。

2. 今後の方向性

- 地域において、急性期疾患へ対応する医療機関は少ないことから、引き続き『急性期疾患を中心に医療を提供』する必要がある。
- 宮下病院については、入院患者の約8割が75歳以上であることから、治療と同時に『在宅・生活復帰支援』を行う医療を提供する必要がある。

3. 医療機能

<宮下病院 (32床)>

- 急性期医療の実施
- へき地における医療の確保
- 臨床研修協力施設としての研修・教育機能の展開
- 地域住民の健康増進への支援
- 救急医療への対応

半径30km

半径20km

半径10km

<南会津病院 (98床)>

- 急性期医療の実施
- へき地における医療の確保
- 救急医療への対応
- 災害時医療への対応
- 総合的な医療の提供
- 臨床研修病院としての研修・教育機能の展開
- 地域住民の健康増進への支援



- 飯塚病院 (410床)
- 佐原病院 (128床)
- 入澤病院 (108床)
- 鳴瀬病院 (90床)
- 飯塚病院附属有隣病院 (160床)

坂下厚生総合病院 (177床)

会津医療センター附属病院 (226床)

つるが松窪病院 (70床)

会津中央病院 (898床)

穴澤病院 (73床)

佐藤病院 (58床)

竹田総合病院 (888床)

会津西病院 (378床)

高田厚生病院 (199床)

竹田総合病院附属芦ノ牧温泉病院 (120床)